

日本国際理解教育学会特定課題研究  
「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」  
公開研究会

日本国際理解教育学会研究・実践委員会では2016年9月から3年間のプロジェクト「国際理解教育における理念と方法を問い直す」を3チームが取り組んでいます。その一つである「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」チームがこれまでの研究報告を行います。

ふるってご参加ください。

～報告内容～

司会：林 敏博（椋山女学園大学）

飯島 真（松伏町立松伏第二中学校教員）

「気候変動の概要と先進的実践事例の紹介」

曾我 幸代（名古屋市立大学）

「変容をもたらすESD：私たちの学校に働きかけるということ」

宇土 泰寛（椋山女学園大学）

「水・気候変動問題からSDGs時代の教育を考える」

藤井 比奈多（椋山女学園大学大学院）

「水・気候変動についての単元学習を土台に、新たな表現・発信方法による学びへ」

質疑応答

# 気候変動と教育を問う

2017年5月20日 土曜日 16:00～19:00

- ・場所：椋山女学園大学 教育学部棟
- ・参加費：無料（事前申し込み不要）
- ・問い合わせ先：〔研究会前日まで〕[soga@hum.nagoya-cu.ac.jp](mailto:soga@hum.nagoya-cu.ac.jp)  
〔当日連絡先〕宇土研究室直通 052-781-4495